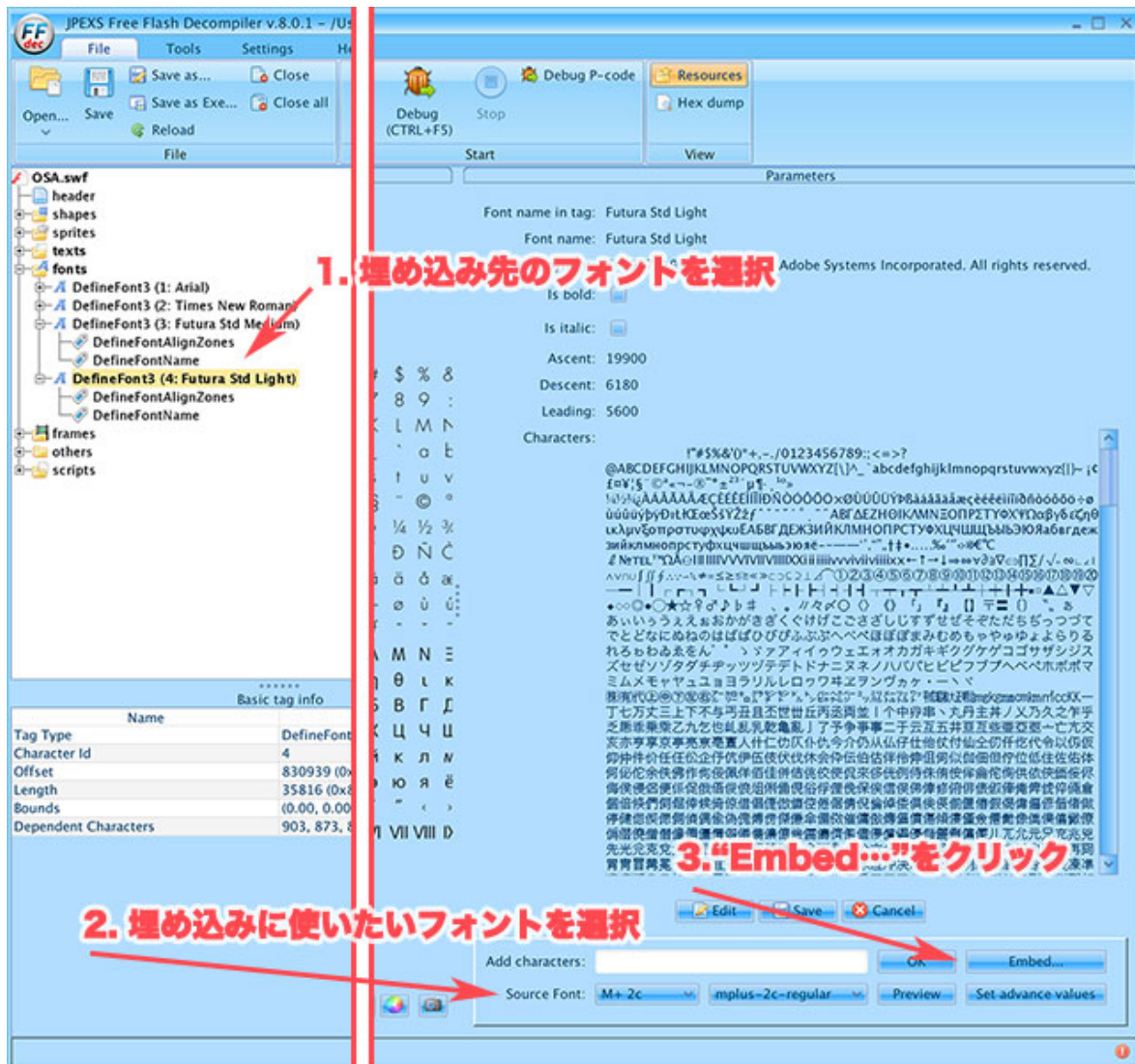
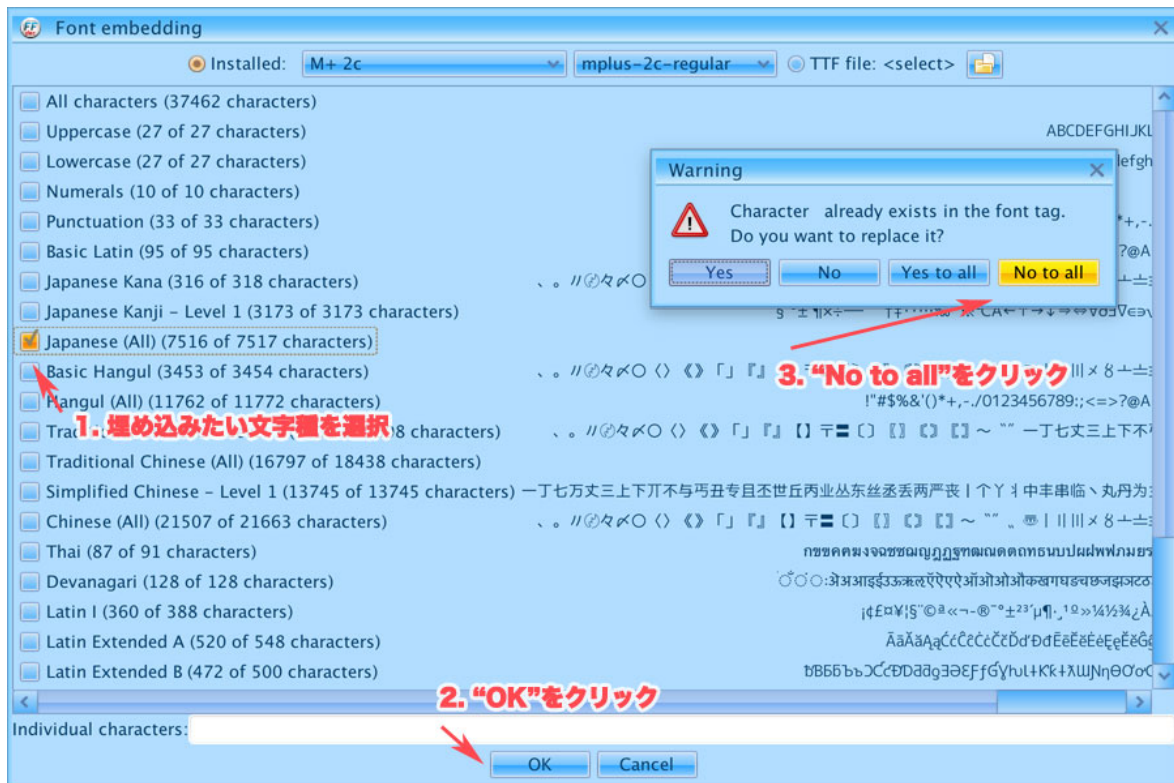


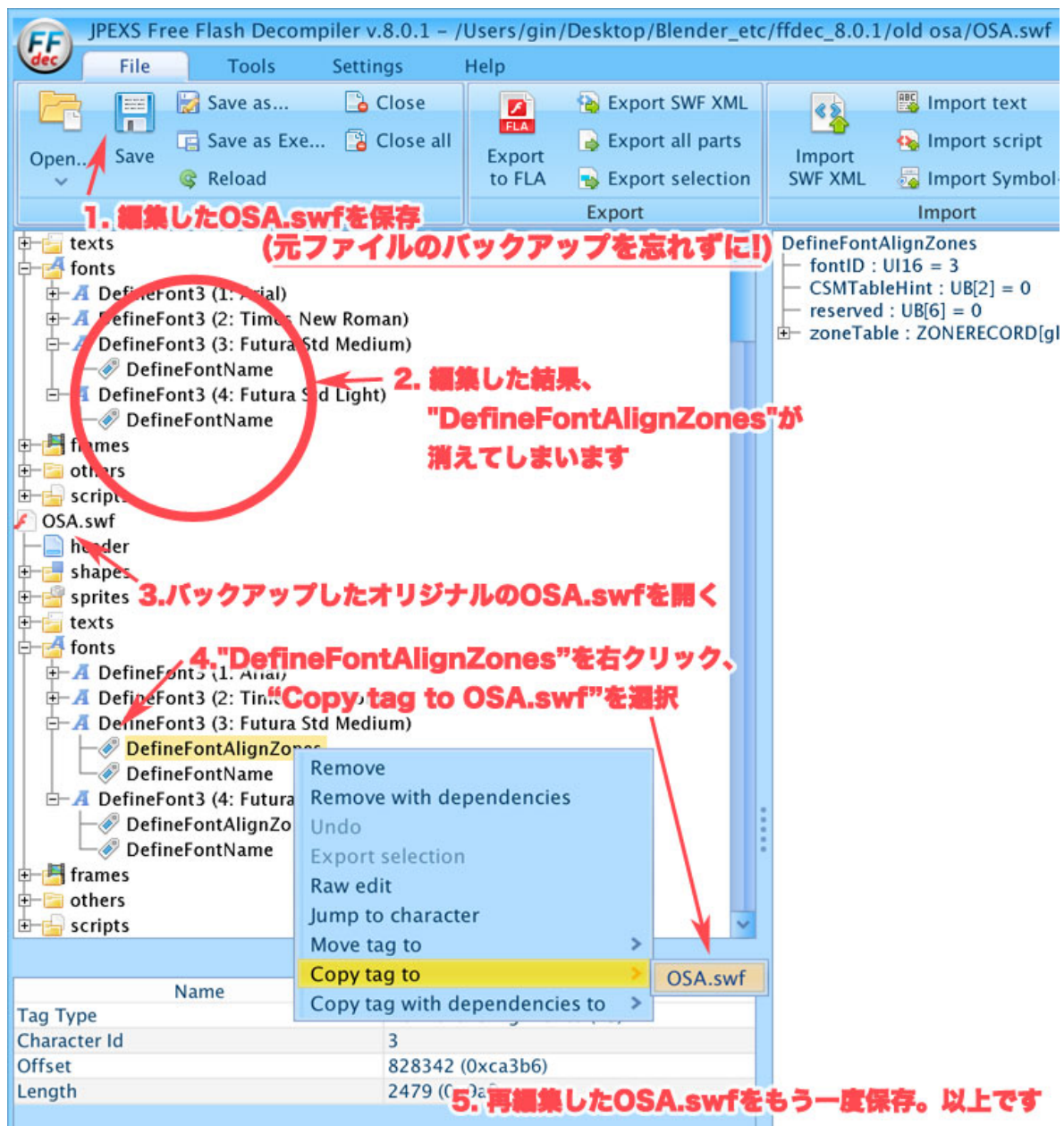
- FFDec を用いた文字の埋め込み方法について



1. OSA.swf を開いて、Fonts/DefineFont3 (3: Futura Std Medium) を選択します。右側に埋め込まれている文字が表示されます（※DefineFont3 と 4 は OSA がもともと使っているフォントです、今回はこちらに直接日本語文字を埋め込みます）
3. 右下の Source Font から、使いたいフォントを選択してください（システムにインストールされているフォントの一覧が表示されます）
4. "Embed..." をクリックしてください



1. 一覧から必要な文字種を選択してください。Japanese (All) だけでフォントに含まれるすべての文字が埋め込まれます。例えば、Japanese Kanji - Level 1 のみですと、第一水準の漢字が埋め込まれます、この場合、ひらがなは埋め込まれません
 2. "OK"をクリックしてください
 3. Warning が表示されますので、"No to all" をクリックしてください（もともとある文字を置き換えませんので、元の半角アルファベットフォントが保たれます）
- ・ 以上の作業を Fonts/DefineFont3 (4: Futura Std Light) でも繰り返してください



1. 一度、編集した OSA.swf を保存してください。オリジナルの OSA.swf のバックアップを忘れずに…
2. 保存した瞬間、もしくは再度開いた後に、Fonts/DefineFont3 の 3:… と 4:… から "DefineFontAlignZones" が消えてしまいます（おそらくカーニング等のデータかと思いますが、これがありませんと、UI上の文字列が崩れます）
3. バックアップしたオリジナルの OSA.swf を開いてください。編集した OSA.swf の下に OSA.swf が読み込まれます
4. オリジナルの OSA.swf 以下、Fonts/DefineFont3 の 3:… と 4:… にある "DefineFontAlignZones" を右クリックし、それぞれコピーしてください。以上です